

スポーツイノベーション推進本部の取組状況について

スポーツ振興課

奈良県スポーツイノベーション推進本部について

【設立趣旨】

国民スポーツ大会の奈良県開催を契機に、一過性でない持続可能な競技力の底上げに取り組むため、令和6年度より、産官学連携で「奈良県スポーツイノベーション(※)推進本部」を設立(令和6年4月17日)した。

本部委員会 委員名簿

(令和6年4月17日時点)

役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
本部長	行政	奈良県知事	山下 真
副本部長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会会長	池田 誠也
副本部長	教育	奈良県教育長	大石 健一
委員	有識者	奈良県スポーツ推進審議会会長	原田 宗彦
委員	アスリート	県関係オリンピック (リオ五輪/バドミントン女子ダブルス金メダリスト)	高橋 礼華
委員	プロスポーツ	株式会社/シンビジャス奈良 代表取締役	加藤 真治
委員		株式会社奈良クラブ 代表取締役社長	濱田 満
委員	企業スポーツ	スポーツチームを持つ県内企業代表者 (佐藤薬品工業株式会社 代表取締役社長)	佐藤 雅大
委員	市町村	奈良県市長会会長(生駒市長)	小紫 雅史
委員		奈良県町村会会長(安堵町長)	西本 安博
委員	学校	天理大学体育学部長	中谷 敏昭
委員		奈良県高等学校体育連盟会長	稲葉 功
委員		奈良県中学校体育連盟会長	長谷 豊
委員		奈良県小学校体育研究会会長	片山 登志男
委員	経済界	奈良県商工会議所連合会会長	小山 新造
委員		奈良県商工会連合会会長	松塚 幾善
委員	議会	奈良県議会文教くらし委員会委員長	阪口 保
委員	医科学	奈良県立医科大学整形外科教授	田中 康仁
委員	行政	奈良県地域創造部長	毛利 嘉晃
監事	—	奈良県会計局長	畑澤 靖子
監事	—	大和信用金庫理事長	中村 正徳

検討部会 部会員名簿

(令和6年4月17日時点)

役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
部会長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会事務局長	和田 俊廣
副部会長	行政	奈良県地域創造部スポーツ振興課長	宮崎 聖
部会員	教育	奈良県教育委員会事務局体育健康課長	新子 泰夫
部会員	有識者	奈良県スポーツ政策アドバイザー	松下 直樹
部会員	有識者	天理大学体育学部准教授	岩山 海渡

【設立】

令和6年4月17日

【運営体制】

・本部委員会と検討部会の2部構成。

➢本部委員会:推進本部における事業内容等を承認する。

➢検討部会:本部委員会から付託された内容を協議し、本部委員会へ報告する。



(※)スポーツの持つ力を活用し、これまでとは一線を画す、奈良県のスポーツのあり方を変えろという想いを込め、革新”や“改革”を意味するイノベーションを用いた造語。²

奈良県スポーツイノベーション推進計画（素案）

【計画の定義】

※今年度の検討部会で調整のうえ、次年度本部委員会に提案予定

本計画は、産学官が連携する「奈良県スポーツイノベーション推進本部」において、令和13年度（2031年）に奈良県で開催する国民スポーツ大会を契機に、その先を見据えた持続性のある競技力の底上げを推進することを目標として、「第2期奈良県スポーツ推進計画」も踏まえながら、その具体化に向けたロードマップを示すために策定する。

ロードマップに基づく目標達成に向けた取組を進めることで、県勢の活躍やスポーツ機運の醸成を促進させ、多くの県民やアスリート等の「生活と心の豊かさ(Well-being)」を増進させるだけでなく、本県の未来を支える子どもたちのスポーツに対する興味や意欲を高めるなど「持続可能で活力ある地域社会の実現」を目指す。

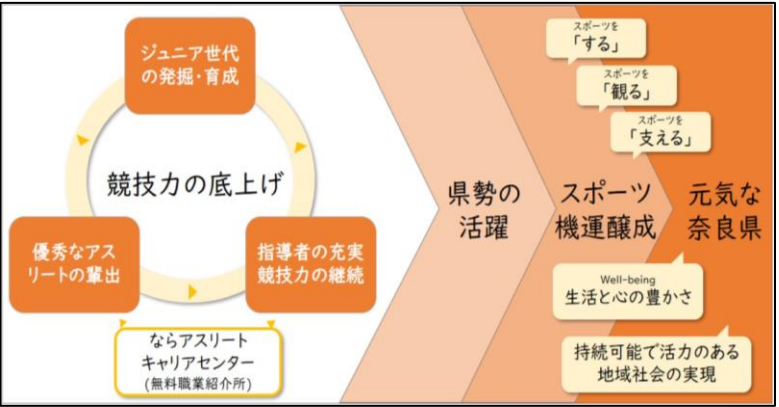
【計画期間】

国民スポーツ大会の奈良県開催年である令和13年度（2031）まで

【ロードマップ】

年度		R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	開催 以降
開催まで		6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	1年後
区 分		育成期	充実期			躍進期		継続期	
強化体制	体制の強化・充実	競技力向上推進本部の運営・産学官一体支援							
		競技団体のマネジメント力の強化							
		会場地市町村の競技拠点化							
	目標・事業評価	競技団体による強化計画の策定・個別ヒアリング等による分析及び支援							
選手の発掘育成	運動の きっかけ創出	県民の運動習慣等形成支援							
		こどもをはぐくむ運動推進活動							
	選手の発掘育成 ・競技普及	未来のトップアスリート発掘育成							
		競技団体と協働した強化活動							
		こども向けの競技普及活動							
		指導体制の確立	指導者の確保・養成・資質向上	アスリート県内定着推進（アスリート及び指導者と県内企業との就業マッチング）					
指導者の資格取得支援									
一貫指導体制の確保	各年代の強化担当スタッフの連携強化								
選手強化体制の充実	競技団体向けアスリート活動支援（指定選手・チームの強化）								
	優秀な指導者等の招請支援等（合宿等への一流指導者の招請等）								
環境整備	競技環境の整備	競技用具等の整備に対する支援							
	支援体制の充実	アスリート県内定着推進（アスリートと県内企業の就業マッチング）【再掲】							
		女性アスリートの競技継続支援・医科学プログラムの活用 等							
		情報発信の強化							

【目指すべきビジョン】



【取組方針】

I 体制強化

- 奈良県スポーツイノベーション推進本部と各競技団体が互いに協力し、競技力の向上に関する取組体制を強化する。
- 産学官の各分野からも、それぞれの強みを活かしながら、協働して競技力の向上における体制構築を支援する。

II 選手の発掘育成 / 指導体制の確立

- 将来のスポーツ人材の要となる「ジュニア世代」の発掘・育成を促進しながら、体験会等を通じてマイナー競技も含めた競技の普及啓発に力を入れて総合的に取組を進める。
- 各競技団体を中心として、指導力強化のため有望指導者の養成支援、優秀指導者の招聘支援等の取組を促進する。
- 合宿・遠征等の選手強化の諸活動に対し重点的に支援する。

III 環境整備

- 競技に要する特殊用具等の整備支援を継続的に行うことで、切れ目のない競技環境の構築を支援する。
- アスリートが安心して県内で競技を続けられる環境(就職支援、医科学支援、女性の課題支援 等)を産学官と連携しながら着実に構築していく。

〈スポーツイノベーション推進本部における取組〉

(千円)

事業名	R6予算
01 推進本部運営費	1,370
02 競技団体向けアスリート活動支援事業	84,322
03 未来のトップアスリート発掘育成事業	8,978
04 アスリート県内定着プログラム推進事業	3,206
05 県民スポーツ大会開催事業	2,900
06 競技開催市町村機運醸成事業	3,000
07 運動のきっかけ創出事業	1,500
08 身近な運動普及啓発事業	840
09 (新) プレ育成プログラム事業	R7 新規
10 (新) トップアスリートとの競技体験会実施事業	
11 (新) こどもをはぐくむ運動推進事業	
12 (新) こどもスポーツフェスティバル開催事業	
13 (新) スポーツコミッション勉強会実施事業	
合計	106,116

R7年度向け新規事業に対する考え方

- ・次世代を担うこどもを主眼に置き、重点的に事業を推進。
- ・協働で事業に取り組むことで、県と各競技団体間の連携力を強化。



目指すべき成果

- ・一過性に終わらない将来性を見据えた組織・体制づくり。

＜01 推進本部運営費＞

R6予算 1,370千円

「奈良県スポーツイノベーション推進本部」の事務局運営及び部会運営を実施。

本部委員会 委員名簿 (R6.4.17設立時点)			
役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
本部長	行政	奈良県知事	山下 真
副本部長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会会長	池田 誠也
副本部長	教育	奈良県教育長	大石 健一
委員	有識者	奈良県スポーツ推進審議会会長	原田 宗彦
委員	アスリート	県関係オリンピック (リオ五輪バドミントン女子ダブルス金メダリスト)	高橋 礼華
委員	プロスポーツ	株式会社バンビシャス奈良 代表取締役	加藤 真治
委員		株式会社奈良クラブ 代表取締役社長	濱田 満
委員	企業スポーツ	スポーツチームを持つ県内企業代表者 (佐藤薬品工業株式会社 代表取締役社長)	佐藤 雅大
委員	市町村	奈良県市長会会長(生駒市長)	小紫 雅史
委員		奈良県町村会会長(安堵町長)	西本 安博
委員	学校	天理大学体育学部長	中谷 敏昭
委員		奈良県高等学校体育連盟会長	稲葉 功
委員		奈良県中学校体育連盟会長	長谷 豊
委員		奈良県小学校体育研究会会長	片山 登志男
委員	経済界	奈良県商工会議所連合会会長	小山 新造
委員		奈良県商工会連合会会長	松塚 幾善
委員	議会	奈良県議会文教くらし委員会委員長	阪口 保
委員	医科学	奈良県立医科大学整形外科教授	田中 康仁
委員	行政	奈良県地域創造部長	毛利 嘉晃
監事	—	奈良県会計局長	畑澤 靖子
監事	—	大和信用金庫理事長	中村 正徳

検討部会 部会員名簿 (R6.4.17設立時点)			
役職	分野	所属機関・団体役職	氏名
部会長	スポーツ団体	(公財)奈良県スポーツ協会事務局長	和田 俊廣
副部会長	行政	奈良県地域創造部スポーツ振興課長	宮崎 聖
部会員	教育	奈良県教育委員会事務局体育健康課長	新子 泰夫
部会員	有識者	奈良県スポーツ政策アドバイザー	松下 直樹
部会員	有識者	天理大学体育学部准教授	岩山 海渡

- 【設立】
令和6年4月17日
- 【運営体制】
・本部委員会と検討部会の2部構成。



- 【令和7年度 予定】
- ・総 会:年1回開催予定(4月予定)
 - ・検討部会:年1回開催予定(下記の内容を検討予定)

- 【検討部会(議題案)】
- ・「女性アスリートの競技継続支援のあり方」について検討。
検討結果を次年度以降の事業化に繋げる。

【概要】

将来、国民スポーツ大会等で活躍が期待される県内アスリートの力を更に伸ばすため、各競技団体に育成支援、指導を行う（公財）奈良県スポーツ協会への事業補助を実施。

令和13年に奈良県で開催される国民スポーツ大会を契機として、競技力の持続的な向上を実現するべく、先催他県の取り組み等を参考にしながらアスリート、指導者双方への支援を実施。



◆競技団体の抱える課題点とポイント

- 団体HR等から、ジュニア選手の確保・強化、指導者の養成、合宿・遠征・強化練習会開催に課題。
→ **限られた予算において、全項目ではなく課題点に係る部分への支援を「重点化」して補助。**

◆補助対象

1 選手育成強化事業

アスリートの力をより伸ばすため、以下のメニューを実施

- ・競技団体へのコンディショニングサポート
- ・**指定選手（チーム）の強化**
- ・ホームタウントップアスリート等活用事業
- ・優秀な指導者等の招聘支援事業
- ・合宿プログラムの充実

<考え方>

- 大会遠征に係る経費への補助を増額し、直接的にチーム・選手の強化に繋げるように支援強化。

2 指導者育成強化事業

- ・スポーツ医科学に基づいた指導者研修会等の開催
- ・**専門スポーツ指導員の配置**
- ・中高部活動の指導者強化
- ・パラアスリート及びパラ指導者の育成事業
- ・アスレティックトレーナー育成事業
- ・エリートコーチ育成強化事業

<考え方>

- （公財）奈良県スポーツ協会に籍を置きながら、競技力向上推進事業拡大に対応するだけでなく、競技団体の更なるフォローアップ人員の確保を強化。

3 練習環境整備事業

・練習器具、用具の整備支援

- 高額等の理由により用具等を整備することが困難な競技団体やレギュレーション変更で新たに用具等の整備を要する競技団体に対して、計画的に用具整備を支援。

【概要】

2031年に奈良県で開催される国スポ・全スポや、将来国際大会で活躍が期待できる、優れた素質を有するジュニアアスリートの発掘、個人の能力や特性にマッチする競技種目の紹介、育成をととして、各競技種目の底上げ、すそ野拡大を図る。

令和6年度

スポーツ能力測定会

【概要】

最新の測定機器を用いて6つの測定種目から運動能力を測定。測定結果、長所や短所、向いているスポーツなどを個別に説明。また、競技団体の協力の下、ボッチャ、なぎなた、ウエイトリフティング、バドミントン、自転車競技の競技体験会を開催。

【日時場所】

令和6年7月31日（水）、8月1日（木）@ジェイテクトアリーナ奈良

【参加者】（総申込728名→当選560名）

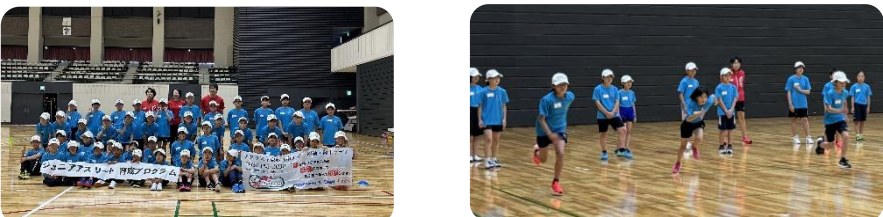
スポーツ能力測定会509名／競技体験会のべ766名
（対象：幼稚園年長～中学3年及びその保護者）



育成プログラム

【概要】

令和5年度スポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち69名に対して、レスリング、ソフトテニス、バドミントン、水球、アーティスティックスイミングの競技体験と、基礎的運動能力の向上を目指す育成トレーニングの運動プログラム全11回を実施。



令和7年度 予定

スポーツ能力測定会

【概要】

最新の測定機器を用いて6つの測定種目から運動能力測定し、運動能力の高い子どもたちを選抜する（令和8年度向け育成プログラム対象者）。
また、未普及競技を中心とした競技体験会を同時開催予定。

【参加予定者数】

①550名程度（対象：幼稚園年長～小学5年生）

【日時場所の予定】

令和7年7月31日（木）、8月1日（金）@ジェイテクトアリーナ奈良（予定）

育成プログラム

【概要】

令和6年度実施のスポーツ能力測定会の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち約60名と令和5年度実施のスポーツ能力測定会の結果から選抜された小学6年生25名に対して、カヌー、ソフトボール、器械体操などの競技体験と、基礎的運動能力の向上を目指す育成トレーニングの運動プログラムを年間12回実施予定。

競技体験会

カヌー：8月頃を予定 器械体操：11月頃を予定 ソフトボール：3月頃を予定

運動プログラム予定

場所	金魚スクエア
時間	9:30-11:30
日程	令和7年 ①4月26日（土） ②5月24日（土） ③6月21日（土） ④7月19日（土） ⑤8月23日（土） ⑥9月13日（土） ⑦10月11日（土） ⑧11月15日（土） ⑨12月13日（土） 令和8年 ⑩1月18日（土） ⑪2月8日（土） ⑫3月15日（土）

＜04 アスリート県内定着プログラム推進事業＞

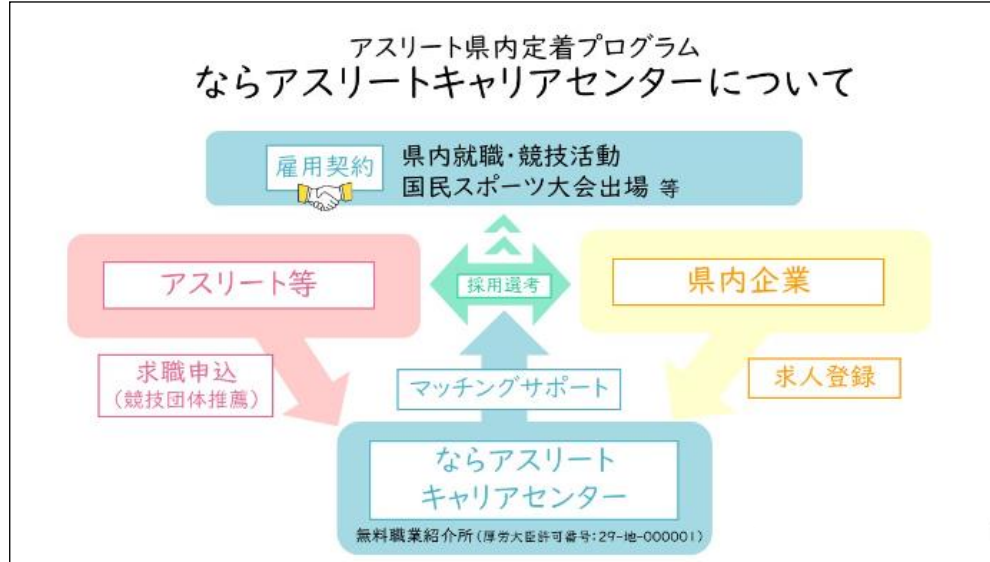
R6予算 3,206千円

【概要】

2031年に奈良県で開催される国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会をはじめとして、全国及び国際大会等で活躍するアスリート等の県内企業への就職を支援する無料職業紹介所（アスリート版ハローワーク）「ならアスリートキャリアセンター」において、アスリートキャリアアドバイザー（大垣 知哉氏）を中心としてアスリート等と県内企業のマッチングを行う取組を進める。

【求人登録企業数】（令和7年1月6日時点）

- ・株式会社丸産業
- ・株式会社泉屋
- ・株式会社汎建製作所
- ・アスカ美装株式会社
- ・平川商事株式会社
- ・奈良ダイハツ株式会社
- ・社会福祉法人生和会
- ・株式会社クレール
- ・奈良交通株式会社
- ・昌和莫大小株式会社



＜05 県民スポーツ大会開催事業＞

R6予算 2,900千円

【概要】

県と（公財）奈良スポーツ協会が共催する「県民スポーツ大会」の開催に対する補助。広く県民にスポーツの楽しさや喜びを体験する機会を提供し、心豊かな県民生活の実現を目指す。

令和6年度

【総合開会式】

令和6年7月7日（日）9:30～10:10 @奈良県産業会館



【県民スポーツ大会】

令和6年4月～令和7年2月 @県内外スポーツ施設

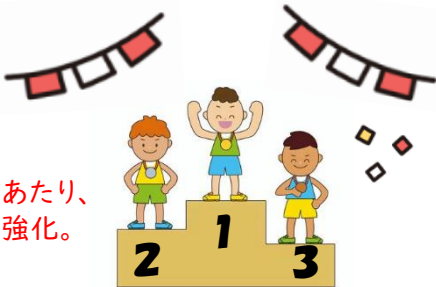
- [1部：市郡村対抗競技の部]
- [2部：公開競技の部]
- [3部：レクリエーション競技の部]

令和7年度 予定

【総合開会式】

令和7年7月6日（日）予定

実施にあたり、
広報を強化。



【県民スポーツ大会】

- [1部：市郡村対抗競技の部・2部：公開競技の部]
令和7年7月6日（日）・13日（日）を中心に開催予定
- [3部：スポーツレクリエーション競技の部]
令和7年11月1日（土）・2日（日）を中心に開催予定

<06 競技開催市町村機運醸成事業>

R6予算 3,000千円

【概要】

国スポ競技会場地に選定された市町村において、市町村と競技団体が協力し、地域住民を対象とした競技体験イベント等を実施。会場地のスポーツ機運の醸成、競技への理解を深め、スポーツ人材の裾野を広げるきっかけを作る。

令和6年度

【概要】

2031年国民スポーツ大会を盛り上げよう!「講演会&バレーボール体験会」

➢講演会:柳本晶一氏による講演の実施

➢バレーボール体験会:柳本晶一氏、山添信也氏による体験会の実施

【日時場所】

➢講演会:令和7年1月17日(土)@下市町観光文化センター

➢体験会:令和7年1月18日(日)@下市中央公園総合体育館

令和7年度 予定

【概要】

開催地におけるスポーツイベントの実施。

アスリートを招いたトークイベントや競技者向けクリニックの開催、住民向けの体験会等を市町村が主体となり、3市町村程度で実施予定。

<07 運動のきっかけ創出事業>

R6予算 1,500千円

【概要】

健康長寿の奈良県の実現を目指すため、運動習慣のない人や運動に興味のない人をターゲットとして、運動を始めるきっかけ作りや運動の楽しさを啓発することで、運動習慣を持つ人の底上げを図るべく、ショッピングモール等の人通りの多い場所で通りがかった人が誰でも参加できる体力チェックイベントを開催。

令和6年度

【日時場所】

令和6年6月29日(土) @イオンモール橿原 スターライトコート

令和6年9月15日(日) @イオンモール高の原 平安コート

【参加者数】

イオンモール 橿原:278名

イオンモール高の原:400名



令和7年度 予定

【日時場所の予定】

令和7年6月頃と9月頃にイオンモール高の原等で実施予定。

<08 身近な運動普及啓発事業>

R6予算 840千円

【概要】

健康長寿の奈良県の実現を目指すため、運動習慣のない人や運動に興味のない人の運動を始めるきっかけ作りや運動の楽しさを啓発することで、運動習慣を持つ人の底上げを図ることを目的とし、運動教室を開催。

高齢者等が運動等を始める際に障害(参加者、場所等)となりやすい過疎地域を対象に市町村へ講師を派遣し、住民向けに運動教室を実施し、身近に実践できる運動・スポーツの楽しさを啓発する。

令和6年度

【日時場所】

令和6年 7月12日(金)@天川村・10月10日(木)@十津川村・10月21日(月)@黒滝村・

11月1日(金)@下北山村・11月13日(水)@御杖村・11月19日(火)@上北山村

令和7年度 予定

【日時場所の予定】

奈良県南部東部振興基本計画の対象とする19市町村のうち運動教室未実施の12市町村を中心に6月~11月に開催予定(5市町村程度)。



<新規要求事業一覧>

<09 プレ育成プログラム事業>

【概要】

令和7年度スポーツ能力測定会(7月31日、8月1日予定)の結果から選抜された、優れた運動能力を持つ子どもたち約60名に対して、次年度の本プログラム開始前に、モチベーションアップと基礎的運動能力向上のためプレ育成を2回実施。イノベーション推進本部メンバーである天理大学と連携して実施予定。

【日時場所の予定】

令和7年11月15日(土)、令和8年2月8日(土) @金魚スクエア

<10 トップアスリートとの競技体験会開催事業>

【概要】

令和13年に奈良県内で開催される国民スポーツ大会に向けて、競技団体と県が連携して、各クラブ等で競技に取り組んでいる子どもたちがトップアスリートとのふれあいを通じて、競技に対する姿勢や考え方などを学び、さらに高みを目指してもらい、将来の奈良県を背負う選手の育成につなげる。



【日時場所の予定】

令和7年12月頃・令和8年2月頃、
大和郡山市総合公園施設もしくは県立檀原公苑にて2回開催予定

<11 こどもをはぐくむ運動推進事業>

【概要】

親子で参加できる運動能力測定会や、簡単なスポーツの体験イベントを通じて、主に就学前の子どもが体を動かすことに親しみを覚えることで、運動習慣の形成や体力向上を図る。また、講習会を通じて保護者や指導者のフィジカルリテラシーを向上させ、さらなる子どもの運動の推進を図る。

【親子運動能力測定会 予定】

日時場所: 令和8年1月24日(土) @金魚スクエア
参加者: 年長以上のお子様とその保護者

【親子運動習慣形成講習会 予定】

日時場所: 令和7年11月8日(土) @金魚スクエア
参加者: 就学前の子どもと保護者 等



※令和6年度
親子スポーツ能力測定会の様子

<12 こどもスポーツフェスティバル>

【概要】

各競技団体と県が連携し、スポーツを行っていない子どもを中心に競技人口が少ない競技を含めた様々なスポーツを体験できる機会を設け、スポーツの楽しさや身体を動かす喜びを感じてもらい、スポーツを始めるきっかけづくりにする。
また、事業を通じて競技人口を増やすとともに競技力向上事業につなげる。

【日程場所の予定】

令和7年10月25日(土)、令和8年1月24日(土) @大和郡山市総合公園施設

【競技の予定】

令和7年10月25日(土)
バドミントン・ハンドボール・卓球・ライフル・なぎなたなどの
屋内競技から4競技程度実施予定

令和8年1月24日(土)
テニス・ラグビー・サッカー・陸上などの屋外競技から4競技程度実施予定



<13 スポーツコミッション勉強会開催事業>

【概要】

奈良県の特色や魅力を活かしたスポーツツーリズムの展開、大会やイベント開催に伴う宿泊や交通、ボランティアスタッフ等の手配、合宿等の誘致など、スポーツ振興と地域経済活性化に向けた取組をコーディネートするスポーツコミッション設立に向けて、産官学民、観光、教育等の様々な分野との連携も視野に、構成組織・役割・活動内容の検討を進める。

【勉強会の実施】

スポーツコミッション活動のメインストリームである大会合宿誘致等で必須となる設備整備状況や国スポ準備状況等を見据えながら、設立時期や設立主体を慎重に協議するための勉強会を実施。

会議体としては、奈良県スポーツイノベーション推進本部委員を活用(各界代表が集まっているため)

【日時場所の予定】

令和7年7月、10月、令和8年1月で3回実施 @奈良コンベンションセンター 10